

最適な充放電制御で、電力ピークカットが可能なEV用太陽光充放電システム / EV用普通充電コンセント

企業名	株式会社Yanekara		
所在地	東京都台東区	資本金	6百万円
設立	2020年6月	従業員数	26名
開発製品 / 技術の概要	【YaneBox】複数台EVに特化した、太陽光充放電システム。 【YaneCube】スマートEV充電コンセント。		

開発製品 / 技術の詳細

【YaneBox】

複数台EVを導入しようとした場合に発生する課題の改善を可能にした、太陽光充放電システム。

課題	従来	本システム
電源改修の費用	1拠点の改修に300万円	不要
電源改修のリードタイム	100台のEV配備に1年	大幅に短縮
基本料金	ピーク電力が上昇し、1.5倍に	電力平準化により変化なし

【YaneCube】

安価かつ充電制御可能で、現状日本において**電力ピークカット**のできる、**唯一の普通充電コンセント**。

既存技術に対する優位性 / 特徴・ポイント

【YaneBox / YaneCube 共通】

複数台EV充電を群制御し、ピーク電力を平準化できるので、**電力基本料金の上昇を抑制**できる。独自の群制御クラウドで社会の電力需給に合わせて充放電を制御し、**駐車中にEVを電力市場で収益化**できる。

【YaneBox】

太陽光から直流充電しているため、**停電時にも太陽光からEV充電が可能**
システム1基で、複数台(4台)のEV制御が可能。

【YaneCube】

充電データを収集し**充電回数/電力消費量等の抽出・分析**が可能
既にEV充電コンセントがある場合、**工事不要で設置可能**

主な実績

- ・日本郵便(株)と、YaneCube16台によるEV充電のピークカット検証を2022年7月22日から実施中。
- ・北九州市と2022年10月5日に連携協定を締結。

マッチング先の要望など

希望する業種 / 業界	連携することで想定される利点
自治体	ピーク電力を平準化できるため、 電力基本料金の削減が可能
タクシー会社	電力市場収益化 (EV1台年間約10万円の収益) YaneBoxの場合
バス会社	災害レジリエンス (他社システムの場合、太陽光パネルからEVまでの間に電力システムを経由するため、停電時に充電できないが、本システムの場合、停電時でも太陽光からEV充電が可能) YaneBoxの場合



YaneBoxと災害時電源ボックス



YaneCube

NEDO事業の概要

複数台の事業用EVに特化したB2Bサービスとして最初の市場参入を目指し、複数EV等を用いて平常時には電力需給バランスを経済的に調整し、災害時には地域の重要拠点に電力を安定的に供給可能なEMSを開発した。